



第22回 稲門建築会 特別功労賞 (奨励)

まえかわ ゆうすけ
前川 裕介 (院 H10)

株式会社建設技術研究所東京本社・社会防災センター 次長、
加賀まちづくり協議会事務局長

【功績と推薦理由】

東京都板橋区加賀一・二丁目地区は、加賀前田藩の江戸最大の下屋敷であった。その後、陸軍兵器工場、研究所事業所、大規模マンション用地へと土地利用転換がすすむなか、「加賀まちづくり協議会」を中心に、行政のみならず、地元住民や地元企業、ディベロッパー、プランナー等が、『加賀』という場所性をアイデンティティに協働し、さらには地区計画、景観形成重点地区などを採用して安全安心、緑豊かな町づくりを実現してきた。その成果は、下記の表彰実績に示すように高く評価されている。

前川裕介氏は、平成10年度より「加賀まちづくり協議会」の活動に参加し、平成14年度以降現在に至るまで、同協議会の事務局長として長年にわたり継続的にまちづくり活動を実践している。

特に、法的根拠をもつ「加賀一・二丁目地区・地区計画」(平成14年)、「景観形成重点地区・加賀一・二丁目地区」(平成26年)をもとに、その運用、地元意見集約、計画調整の役割を前川裕介氏を中心とする加賀まちづくり協議会が担ったことにより、各大規模開発時や公共施設整備・改修時において、公共的空間を優先した整備が実現し、自然と調和した建物・外構づくり、史跡や緑空間等の保全整備により、美しい街並みが形成されてきた。

大規模事業所跡地には大規模マンションが立地する等、めまぐるしい土地利用転換が続いたにも関わらず、地区内の景観・歴史的資源は保全され、地区の自然と歴史を体感できる高質な歩行者ネットワークが形成されている。

多様な主体をとりまとめて、緑と水・公園と広場・道・住居などの総合的な環境整備から、エリアマネジメントまでを自主運営してきた実績を高く評価したい。

住民参加のまちづくりは早稲田の得意とするところであるが、その成果を都市景観の質向上として具現した前川裕介氏は、稲門建築会功労賞の候補者としてふさわしい人物であることを認め、ここに推薦する次第である。
推薦者 後藤 春彦 (苗 S55)

【略歴】

平成10年 早稲田大学大学院理工学研究科建築学専攻(都市計画)修了

平成10年～20年 株式会社マヌ都市建築研究所

平成20年～現在 株式会社建設技術研究所

表彰実績(優秀技術者表彰関連)

平成21,22,26年度優秀技術者表彰(国土交通省国土技術政策総合研究所)

平成28年度優秀技術者表彰(国土交通省関東地方整備局)

【社外経歴】

平成10年～現在 加賀まちづくり協議会事務局(平成14年～事務局長)

平成27年～現在 日本都市計画学会編集委員会委員

表彰実績(加賀まちづくり協議会関連)

平成20年 東京都知事感謝状(加賀まちづくり協議会)

平成29年 美し国づくり大賞「特別賞」(NPO法人 美し国づくり協会)

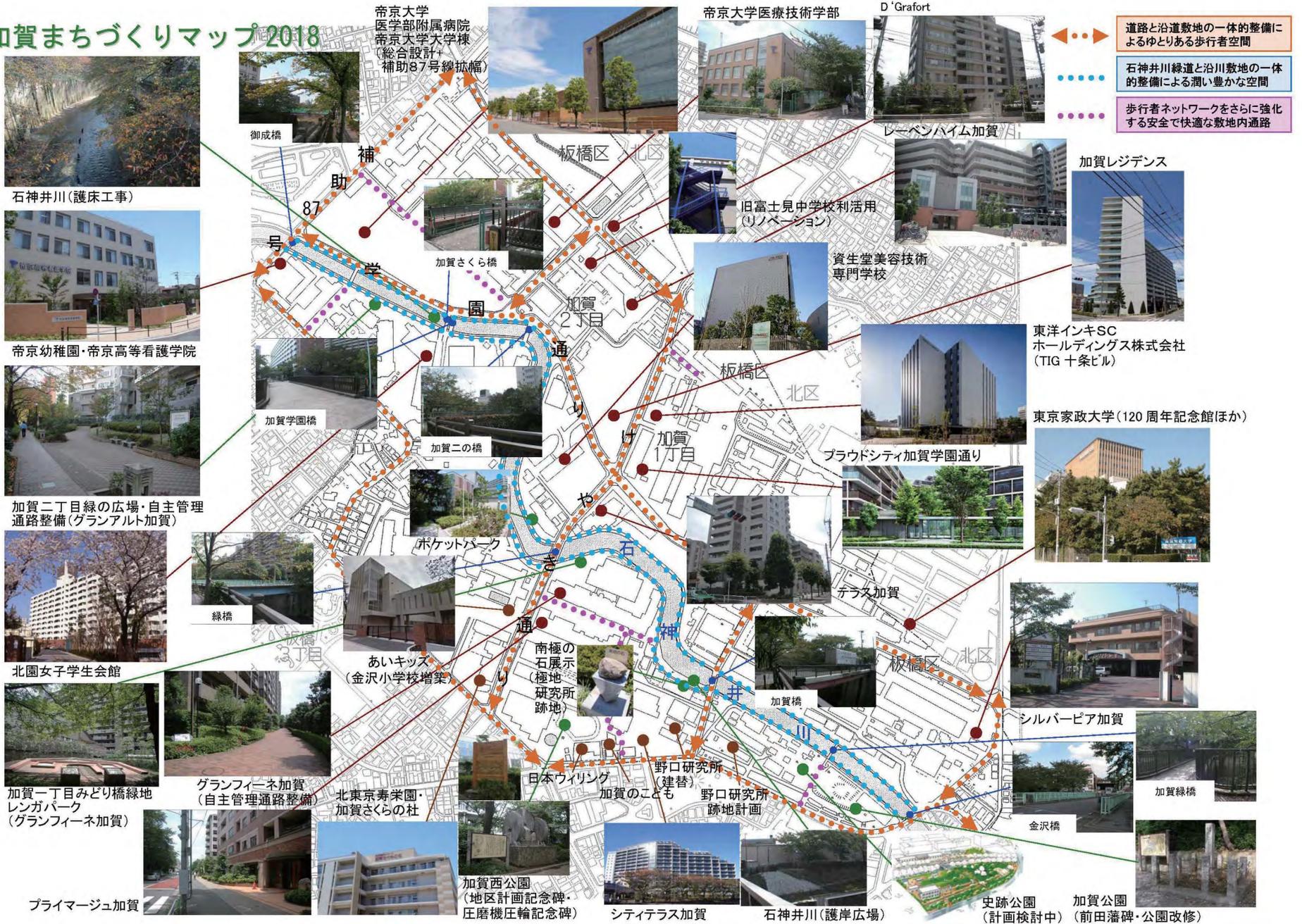
平成30年 都市景観大賞・都市空間部門「特別賞」(国土交通省)

平成30年 第10回まちづくり賞「まちづくり大賞」(公益社団法人日本建築士会連合会)

令和元年 第8回まちづくり法人国土交通大臣表彰「審査委員長賞」(国土交通省)

主な活動

加賀まちづくりマップ2018



協議会活動の成果をまとめた「加賀まちづくりマップ2018」



民間開発・公共施設等、数多くの施設計画を長年にわたり協議



公益社団法人日本建築士会連合会・第10回まちづくり賞「まちづくり大賞」授賞式にて